



1. ブラジル連邦共和国の概要

◆ブラジル連邦共和国は、南アメリカ大陸最大の面積を擁する国家であると同時にラテンアメリカ最大の領土、人口を擁する国家で、面積は世界第5位である。

◆長らく労働党政権が続いた中、国政改善を求める国民の動きにより大統領を弾劾、2016年の暫定大統領による財政健全化、労働制度改革、政治改革・選挙制度見直しへの流れを現ボルソナロ大統領が踏襲し取り組んでいる。

【図表1: ブラジル一般概要】

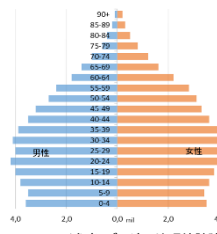
1 国名	ブラジル連邦共和国 Federative Republic of Brazil
2 人口	2億766万人 (2017年)
3 面積	851万5,767平方キロメートル (日本の約22.5倍)
5 首都	ブラジリア
6 言語	ポルトガル語
7 宗教	主にカトリック
8 民族	欧州系 (約48%)、アフリカ系 (約8%)、東洋系 (約1.1%)、混血 (約43%)、先住民 (約0.4%)

(出典: 外務省HP)

【図表2: 地理、気候】



【図表3: 年齢構成】



【略史、日系社会】

1822年の独立までポルトガルの植民地であり、帝政、共和制、軍事政権を経て現在の民政に移管。日本とは1895年11月の修好通商航海条約調印をもって外交関係樹立。ブラジル移住は1908年笠戸丸によって開始。海外で最大の日系社会 (約200万人) を持ち、活発な要人往来等伝統的に強い友好関係を築いている。

(参考: 外務省HP)

南アメリカ大陸のほぼ半分を占め、世界第5位の面積。ブラジルは北部は赤道直下で、全体的に海流等の影響もあり気候は大変温暖であり、中南米最多の人口と経済規模である。

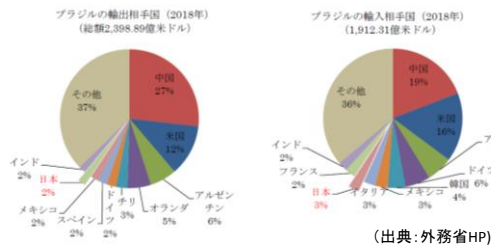
(参考: ジェトロHP)

1 政体	共和国性 (大統領性)
2 元首	ジャイル・メシアス・ボルソナロ大統領 (2019/01-) 社会自由党
3 議会	二院制 (上院 81名、下院 513名)

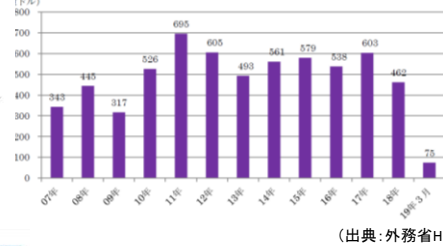
3. ブラジル連邦共和国における日系企業の投資および日伯関係

◆過去2度に亘るブラジル進出ブームを始め、ナショナルプロジェクトと呼ばれる大型日伯合同大型投資プロジェクト、昨今では地デジ日本式採用、日伯経済合同委員会、日伯貿易産業投資促進委員会、賢人会議、日伯農業対話、インフラ作業部会など日伯官民枠組みによる対話活動が活発となっている。またG4諸国として等国際外交においても良好な協力関係を築いている。当所では2018年より日メルコスールEPAの早期交渉開始へ向けた働きかけを本格化している。

【図表8: ブラジル貿易国別グラフ】



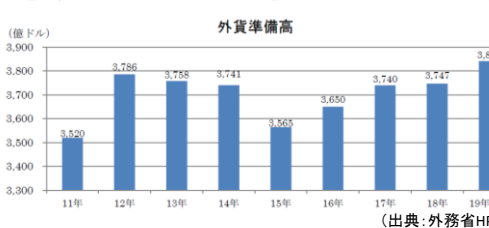
【図表9: ブラジル外国直接投資 (資本参加分 (貸付は除く)) 流入額】



【図表10: ブラジル国際収支】(出典: 外務省HP)

	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年3月
經常収支	△526	△542	△814	△909	△589	△235	△98	△145	△82
貿易収支	298	194	26	△39	177	450	640	536	93
サービス・所得収支	△852	△765	△873	△889	△793	△715	△764	△706	△181
經常移転収支	28	28	34	19	27	29	26	25	6
資本収支	1119	728	754	996	543	161	45	89	63
投資収支	1103	746	742	990	547	164	49	93	64
直接投資	760	681	675	660	880	910	766	1024	270
対外直接投資	93	28	35	35	135	128	63	141	58
対内直接投資	667	653	640	625	745	782	703	883	211
証券投資	251	83	258	300	220	△192	△152	△117	71
デリバティブ	0	0.3	1.1	△15.7	34.5	△9.7	7.1	27.5	7.0
その他投資	92	△18	△193	45	233	215	382	475	87
その他資本収支	16	△19	12	6	4	3	4	1	1
譲渡・販運	△6	4	1	22	37	69	45	48	17

【図表11: ブラジル外貨準備高】

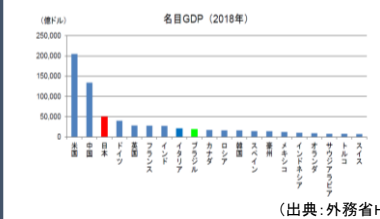


2. ブラジル連邦共和国の経済

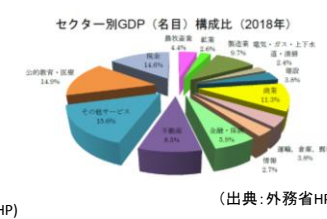
◆GDPは世界第9位、かつ南米最大の経済規模を誇る。(日本の約38%)。一人当たりGDPでは日本の約25%。関税同盟としてのメルコスールを大きく牽引する。

◆所得中間層の底上げに伴い消費人口市場の拡大が大きく期待される。2014年以降の正規雇用純増など堅調な経済回復の兆しが見られる中、ボルソナロ新政権の財政健全化と自由貿易推進の政策に期待がかかる。

【図表4: 名目GDP】



【図表5: セクター別GDP】



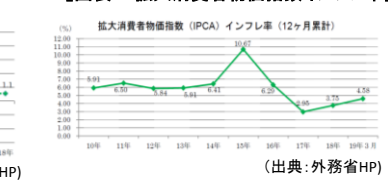
1 名目GDP総額	1,909 (10億ドル)
2 1人当たりGDP	9,127 (ドル)
3 実質GDP成長率	1.1 (%)
4 財政収支GDP比	-1.43%
5 政策金利	6.50 (%)
6 外貨準備高	374,715 (100万ドル)

(出典: ジェトロHP 2018年)

【図表6: 実質GDP成長率 (前年比)】



【図表7: 拡大消費者物価指数インフレ率】



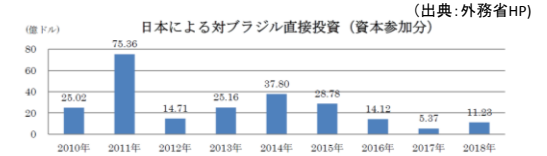
1 主要産業	製造業、鉱業 (鉄鉱石他)、農牧業 (砂糖、オレンジ、コーヒー、大豆他)
2 輸出品目	一次産品 46.4% (大豆、鉄鉱石、原油等)、工業製品 36.9% (乗用車、航空機、商用車等)、半製品 14.4% (粗糖、木材パルプ、鉄鋼半製品等)
3 輸入品目	原材料及び中間材 62.7% (工業原材料、資本財付属品、輸送用機器付属品等)、消費財 5.4% (医薬品、食料品、家庭用機械器具等)、石油及び燃料 11.7%、資本財 12.7% (工業用機械、輸送機器等)

(出典: 外務省HP 2018年)

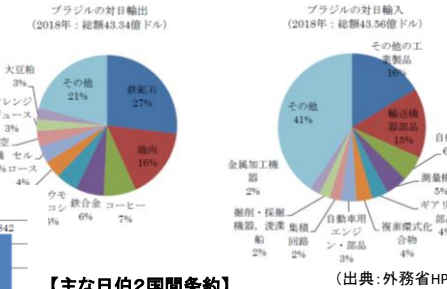
【図表12: ブラジル対外債務・債権収支】



【図表14: 日本による対ブラジル直接投資】



【図表13: 日伯貿易】



【主な日伯2国間条約】

- 租税条約 (1967年)
- 社会保障協定 (2012年)
- 税関相互支援協定 (2017年9月署名。未発効。)

(参考: 外務省HP)

(『現代ブラジル事典』から抜粋予定)

【ブラジルのポテンシャル】

- ◆人口2億人と巨大消費市場としての潜在性
 - ◆豊かな天然資源と高い食料生産ポテンシャル
 - ◆世界最大の日系人社会と優秀な人材
 - ◆南米におけるリーダーシップと最も安定した政治・経済ファンダメンタルズ
 - ◆日伯双方のニーズ補完関係 (日本から技術⇄ブラジルから労働力)
- (会議所HP「ブラジルのポテンシャル」(麻生元総理との意見交換で提出)より抜粋)